



事例 NO.71

『JAMA』日本語版に関する質問

・質問

『JAMA』の日本語版はありますか。できれば、オンラインで読みたいのですが。

[医学科3年生, 口頭受付, 2012年11月]

・調査の経緯

『JAMA』日本語版に関する質問は、毎年この時期恒例となっている。課題は「原著論文を読むこと」なのだが、問い合わせは、圧倒的に日本語版の方が多い。

当館では、英語版は冊子体が2005年まで、オンラインは1998年から閲覧が可能である。日本語版は26巻3号(2005年)で休刊しており、それ以降は、メジャー誌の日本語要約の一部が掲載されている『MMJ』に頼っているのが現状である。

今回は、オンラインでということだったので、Googleによる検索を試みた。JAMA+日本語で検索すると一番トップにあった「JAMA・MEDICALの日本語版も無料で」という言葉に惹かれ、『日経メディカル オンライン』(以下『日経メディカル』)を無料登録し、サイトに入ってみた。

論文を閲覧するには、メニュー【連載】の中の[海外論文ピックアップ]をクリックする。雑誌ごとに論題が表示され、論題をクリックすると日本語の要約が閲覧できる。

『MMJ』(季刊)の1号あたりの『JAMA』の掲載論文は約3件である。これに対し、『日経メディカル』は1か月あたり約6件と多く、最新のものも閲覧できる。ただし、『MMJ』は論文ごとに専門医の詳しい解説が掲載されており、論文の主旨を汲み取りやすいという面もある。

・回答

質問者に伝える際に、いずれを利用するにしても要約である旨を言及しておいた。質問者は当初の希望もあり、『日経メディカル』を利用することとなった。

・補足

『MMJ』『日経メディカル』ともに『JAMA』以外にも、下記の雑誌の日本語要約が閲覧できる。ただし、『日経メディカル』では、『Ann Intern Med』の表記はなく『その他の海外論文』の中に含まれている。

『BMJ』『NEJM』『Lancet』『Ann Intern Med』

・情報源・参考文献

- 1) JAMA: the Journal of the American Medical Association [internet]. <http://jama.jamanetwork.com/issues.aspx> [accessed 2012-11-06]
- 2) MMJ: The Mainichi Medical Journal. 2012;8(3)ほか.
- 3) 日経メディカル オンライン [internet]. <http://medical.nikkeibp.co.jp/> [accessed 2012-11-06]

・ポイント

当館では、ほとんどの場合、OPACや『医中誌Web』によるクイックレファレンスで済ませることが多い。今回の事例も過去の記憶を呼び起こしながらの執筆となった。雑誌掲載を機会に、少しずつでも記録に止めていければと思う。

(奈良県立医科大学附属図書館 西島 加代
1959kn@narmed-u.ac.jp)

JAMA	more
<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡張期心不全へのスピロラクトン投与で運動能力や QOL は向上せず (3/13) ・ エキセナチド、シタグリブテンの使用者は急性膵炎の入院リスクが約 2 倍 (3/12) ・ HES を用いた輸液蘇生の安全性に懸念 (3/7) ・ 妊娠前後の葉酸摂取は出生児の自閉症リスク低下にも関係 (2/27) ・ 薬剤の色や形が変わると服薬遵守率が下がる (2/26) 	

* 原稿執筆時、3月13日時点での『日経メディカル オンライン』の掲載記事。日付は、ホームページにアップされた日付で、『JAMA』の掲載号ではない。右上の【more】をクリックすると過去の論文も表示される。